



▲青苗中学生が元気に販売

## ☆修学旅行で奥尻島PR

…青苗中学校3年生の体験学習

8月26日から修学旅行で青森・秋田・岩手県の東北3県を訪れていた青苗中学校（校長・大村徳則、全校生徒33名）の3年生（生徒10名中8名）が、29日に岩手県盛岡市で体験学習として奥尻島のPR活動を展開しました。体験学習は5名が奥尻島の名産品販売、3名がラジオ出演の2班に分かれ、それぞれ豊かな自然あふれる奥尻島の魅力を岩手圏域に伝えました。なかでも奥尻島産のイカを使った塩辛、山海漬など5種類の販売体験では、生徒が「奥尻島の海の幸で〜す」と来店者に呼びかけると売り場は徐々に賑わいをみせ、約1時間で9割の商品を売りさばくほどの盛況ぶりでした。なお、この中学生の修学旅行中の体験学習については、地元テレビ局3社と新聞社1社から取材されています。

## ☆新ごみ処理場オープン

…10月9日から受け入れ開始

2ヵ年計画で工事が進められていました「奥尻町一般廃棄物最終処分場」がこのほど完成し、10月9日（火）から受け入れを開始します。この処理場は、旧処理場の許容量の限界に伴い、今後15年間の一般家庭から排出される不燃ごみを埋立処理するため、総事業費5億3千800万円を投じて新たに建設されたものです。

### 【施設の概要】

- 計画目標年次……平成34年（15年間）
- 埋立地面積……3千584平方メートル
- 埋立容量……約1万3千立方メートル
- 完成位置……球浦開拓ゲート交点から稲穂方面約1キロメートル先

なお、新処分場は「一般廃棄物」のみの受け入れとなりますが、施設の延命化を図るため、町民みなさんの「ごみの分別」について更なるご協力をお願いします。詳しくは環境センター（☎3-2747）へお問い合わせください。



▲完成した新ごみ処理場



…「歩いてみる会」136名参加

まちの話題あれこれ

## ☆歩いて健康、自然満喫



参加者全員で記念撮影

町では、9月1日に「歩いてみる会」を開催しました。当日は快晴の中、約4キロの「楽ちんコース」に81名、約8キロの「さわやかコース」に55名の合わせて136名が参加し、復興の森から神威脇地区までの雄大で自然美豊かな景観を満喫しながら、それぞれのペースで心地良い汗を流しました。

また、ゴール後には手作りカレーを食べたり、神威脇温泉保養所での入浴や健康チェック、野菜市、遊びの広場などを楽しみ、健康で快適なひとときを過ごしました。



▲説明を聞き入る児童たち

## ☆ごみ分別の大事さ勉強

…奥尻・青苗小学校が環境センター訪問

9月11日と12日の両日、奥尻小学校（校長・柴草良司）と青苗小学校（校長・森 松治）の4年生（奥尻小学校が児童10名、青苗小学校が児童12名）が環境センターを訪問し、焼却施設の構造やごみの処理について勉強しました。児童たちは施設内を見学した後、環境センターの仕事、ごみの処理方法、資源ごみのリサイクルなどについて、同センターの職員に次々と質問しながら説明に感心していましたが、なかには厳しく鋭い質問も飛び出て、職員が回答に困る場面もありました。帰り際にごみの分別について職員からお願いされると、児童たちは「きちんと分別します」と大きな声で約束し、分別がいかに大事かをあらためて勉強になったようでした。

▶ 介護の要いすの車も避難者も無事に避難させる



# ★ わが家のアイドル ★



(右)川尻 政史さん (字奥尻) の  
 (左)高島 友浩さん (字奥尻) の  
 の の は  
 (右)長女 希 羽 ちゃん (4歳8ヵ月)  
 (左)長女 美 紅 ちゃん (3歳11ヵ月)  
 ~ 2人の両親からの共通メッセージ ~  
 仲良くステキな女の子達でいてねっ♡

## いざというときのために

### 国民保護計画の視点で 従来と違う防災訓練実施

町では、9月5日に「奥尻  
 町防災・国民保護訓練」を  
 実施しました。  
 この訓練は、平成5年の北  
 海道南西沖地震災害の教訓か  
 ら毎年行われているもので  
 が、今年「奥尻町国民保護  
 計画」に基づき、国民保護に

▶土のう製作の実演



関する知識や技能の向上、体制の強化、普及啓発を図る観点から、従来とは違う想定での防災訓練となりました。  
 当日は、奥尻地区の鷹の巣団地周辺の砂防ダムが緊急対処事態（テロ攻撃）によって破壊され、溢水被害が発生したことを想定し、午前10時30分に国民保護用のサイレンが全町一斉に鳴り響いて訓練が開始されました。  
 その内容は、役場職員や消防団員等による地区住民の避難訓練をはじめ、災害対策本部の設置や運営、住民避難誘

導、避難所開設、町内巡回、各町内会長や学校長等による通信訓練、消防署員による土のう製作実演、北海道教育大学札幌校の佐々木貴子准教授による非常食づくり訓練など、奥尻地区の町営整備工場前を拠点として次々と訓練が進められました。

訓練には、避難訓練に参加・協力された奥尻2区の住民をはじめ、役場職員、消防署員、消防団員、警察官、自衛官、江差海上保安署員、赤十字奉仕団、町議会議員など総勢192名が参加し、いざというときにいかに迅速に対処できるかなど、その心構えを相互に話し合いながら真剣に訓練に取り組んでいました。



▶佐々木准教授による講演